

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業評価書

担当課:交通政策課, 茨城県

1 事業概要

事業名	いばらきサイクルツーリズム推進強化事業					
総合戦略における位置付け	基本目標	Ⅱ 新たなひとの流れを生み出す				
事業目的	新たに設立した官民の協議会と連携しながら、継続したサイクルツーリズムの推進による地域振興につなげるとともに、サイクリングツアーなどの移住・定住の促進に関わる施策を推進することで、将来的に人口増大及び産業振興、また地域の雇用確保に繋げる。併せて、サイクルツーリズムによる滞在型観光の構築を通じた消費喚起策を講じるほか、自転車活用推進によるサイクリング立県いばらきとしての地域ブランドを確立することで、地方創生を実現する。					
事業期間	2021(令和3)年度～2024(令和6)年度					
事業費(千円)	総事業費	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	
	交付金対象	1,230	384	428	418	
	交付金(交付率50%)	615	192	214	209	
事業内容	市内でのサイクルツーリズムの機運の醸成及び理解の促進に向け、市民に向けた自転車マナーの啓発を実施する。あわせて、県や協議会と連携し、全県的なサイクルツーリズムの推進に向け、誘客促進や情報発信のための事業を実施する。					

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況と評価

(1)KPIの達成状況

KPI項目		基準値 2020(令和2)年度	目標値 2023(令和5)年度	実績値 2023(令和5)年度	【参考】目標値 2024(令和6)年度
1	サイクリスト宿泊者数 (単位:人)	0	230	359	242
2	サイクリングを伴う教育旅行の誘致回数(単位:回)	0	7	2	5
3	移住・定住向けサイクリングツアーの参加者数(単位:人)	0	15	38	15
達成率平均値 (実績値-基準値)/(目標値-基準値)			146%	達成度	地方創生に非常に効果が あった

(2)評価

評 価
自転車の交通ルールの周知及びマナーの啓発を図るため, 高校生ボランティアと連携した自転車通行指導を実施した。 また, 令和5年度から本格運用を開始し, 広く市民に活用をいただいているシェアサイクルについて, 大学生と連携し, シェアサイクルの使い方やおすすめサイクリングコースを紹介するサイクリングマップを作成・配布するなど, 市民に向けてサイクルツーリズムの機運の醸成及び理解の促進に取り組んだ。 あわせて, 県や協議会と連携し, 奥久慈里山ヒルクライムルート及び大洗・ひたち海浜シーサイドルートの情報発信, モデルルートの作成などに取り組み, 広域におけるサイクルツーリズムを推進した。 これらの取組によって, 令和5年度は, 本事業の目標を達成できた。今後は, これまでの取組に加え, シェアサイクル事業の拡大を図るなど, さらなるサイクルツーリズムの推進に取り組む必要があるものと評価する。

3 今後の取組

方針	主な取組
事業を継続する	引き続き、市民に向けたサイクルツーリズムの機運の醸成及び理解の促進に向け、市内での自転車の交通ルールの周知及びマナーの啓発を実施するとともに、県や協議会と連携し、全県的なサイクルツーリズムの推進に向け、誘客促進や情報発信を行う。 また、シェアサイクル事業については、ステーションや自転車の増設など、事業の拡大を図るとともに、シェアサイクルの推奨回遊ルートを示すマップの作成を行うなど、利用促進に取り組む。